

正命邊ノ支田レナシ、後誠皆レテ御聞會公古屋田麿也。」若少

余繼畱年當支（餘類當日）未竟燭香士卒二十二人繼次給舟去一晚以
日漸日暮也人人方會計賈業歸心急於六月廿六日題寄十四日

卷一

羅央見

財團協調會名古屋出張所

給與ヲナサシム
事業員代表ハ前項ヲ承諾セリ依テ今后會社ニ對シ何等ノ要求ヲ
ナサニルコト

別記

イ、未就職者中獨身者ハ六月三十日以后給料二ヶ月分、世帯持者ハ三ヶ月分ニ各相當スル金額ノ半額ヲ給與サル、コト、但シ就職者ハ翌日より支給ヲ停止サル、コト、
口、前項ニツキテハ實情ニ即シ支給ノ方法ヲ變更スルコトアルモ
差支ナキコト

額給與ヲ適當ニサレ異議ナキコト

小出繁芳、星野政吉、安藤仙一、藤田光三、近藤一義、
小橋誠人、水谷守